

令和 5 年度幼稚園教諭免許法認定講習等推進事業 成果報告書

団体名：兵庫大学

1. 事業の実績

(1) 事業目的

大学で開講する免許法施行規則の定める科目のうち必要な単位数を履修し修得できるように設定する。令和5年度においてはオンライン受講科目を拡大し、複数選択できるように科目数を充実させ、かつ週1回程度適切に受講することで15単位以上修得可能な上進講習専用の科目群を設置する。

また、兵庫県における幼稚園教諭の勤務実態を踏まえ、効果的な幼稚園教諭免許法認定講習のあり方について自治体等と協議したうえで、キャリアアップ指定科目内に現場に役立つ特色のある講習（園での実践、危機管理等）を設定する。

これら講習においては、新たな受講スタイルを取り入れ、オンラインと共にオンデマンド配信を並行して行い、反復学習することが可能な学習環境を整備する。その実施方法については、事前に文部科学大臣の認定を受けた上で実施する。

本事業の受講者には終了後アンケート調査を実施し、事業成果の把握に努める。専用のホームページを開設し、上進講習に関する情報を配信するだけでなく、広域に発信し受講者拡大を図りつつ、受講者への情報配信の拠点としても利用する。

(2) 事業概要

学内の生涯学習機関に入学し、大学で開講する免許法施行規則の定める科目を必要な単位数履修し修得できるように設定し、全て放送による授業（オンデマンド配信）とし、10月から各科目順次配信した。

【令和5年度開講科目】

科目名	単位	コマ数	定員	最終試験
こどもと造形	2	15回	40名	有（最終課題を提出し判定）
保育内容総論	2	15回	40名	有（試験期間：2/17～2/27）
こどもと言葉	2	15回	40名	有（試験期間：2/17～2/27）
保育内容「表現」の指導法（音楽）	1	8回	40名	有（試験期間：1/20～2/24）
こどもと人間関係	2	15回	40名	有（試験期間：2/17～2/27）
教育心理学	1	8回	40名	有（試験期間：2/17～2/27）
特別支援教育の理解	2	15回	40名	有（試験期間：2/17～3/10）
教育方法論	2	15回	40名	有（試験期間：2/17～3/2）
発達障害児への支援	2	15回	40名	有（試験期間：2/17～3/2）

これら映像の配信については動画配信システム・プラットフォーム「クラストリーム」（株式会社アイ・ピー・エル）を利用し、受講生それぞれに合わせた視聴画面を管理・運営し、かつ個別の視聴状況等を分析し、学習支援につなげていった。

また、授業に関する連絡やレポート等提出については、本学の学生向けに開設している教育支援サービス「manaba」を利用し、受講生のトータルサポートを実現した。

【新たな教師の学びの姿の実現に向けて（特別講習、選択）： 2 講習】

講習名	時間数	上限数	受講形式	実施内容
絵本作家講演会	2h	100	対面	第1部では絵本研究者による絵本を使った知育や、読み聞かせによる教育効果などを学ぶ。第2部は絵本作家による講演を開催。
「学校安全」生活安全・交通安全・災害安全～自らの命を守り安全な社会を築くために～	6h	40	オンライン、オンデマンド	学校安全の目的は、児童・生徒の身を守るだけでなく、児童・生徒が安全に関する資質・能力を身につけることにある。本講座の前半では、教育現場で起こり得る事件・事故・災害から児童・生徒を守る方策を事例を元に考え、後半は児童・生徒が主体的に安全教育に取り組む指導計画を作成し学校現場での活用を目指す。

実践の講習として「新たな教師の学びの姿の実現に向けて」を題材に、2つの講習を開講する準備をし、県下360園に対して広報した。

絵本作家講演会には、地元の幼稚園等勤務する保育者30人が集まった。福音館書店絵本研究室有賀武史氏による絵本に関する講習では、絵本作品の見どころから、絵本を使った知育や、読み聞かせにより開かれるこどもの興味の扉など、その後の絵本作家阿部結先生の講演では、1冊の絵本が生まれるストーリーと、作者側の気持ちについてが教授された。参加者は絵本について知識を深める機会となった。参加者アンケートからは企画満足度100%（アンケート回答率86.7%）という結果となった。

「学校安全」生活安全・交通安全・災害安全の講座については、園の安全について様々な角度から学ぶ映像を用意した。受講者は映像を通して学び、習熟度をはかる試験でその達成度を実感した。この映像は、募集期間を延長し、希望するものに対しては3月末まで視聴可能とした。

(3) 成果（事業の実績の説明）

【開設した講習数： 9科目】

科目名	単位数	コマ数	上限数	②受講者数	③単位取得者数	④上進した教員数	受講料 (@ 4,000)	特記事項
こどもと造形	2	15	40	8	<u>6</u>	4	8,000	オンデマンド
保育内容総論	2	15	40	9	<u>8</u>	4	8,000	オンデマンド
こどもと言葉	2	15	40	<u>8</u>	<u>7</u>	6	8,000	オンデマンド
保育内容「表現」の指導法（音楽）	1	8	40	9	<u>8</u>	7	4,000	オンデマンド
こどもと人間関係	2	15	40	2	<u>1</u>	1	8,000	オンデマンド
教育心理学	1	8	40	6	<u>5</u>	5	4,000	オンデマンド
特別支援教育の理解	2	15	40	2	<u>2</u>	1	8,000	オンデマンド
教育方法論	2	15	40	6	<u>5</u>	5	8,000	オンデマンド
発達障害児への支援	2	15	40	9	<u>7</u>	7	8,000	オンデマンド

受講者数については、定員目標の45%であった。定員を想定していた人数より下回った理由として、科目の変更等による再申請の関係で、募集時期が遅れたことにある。また、受講科目数を増やし科目の選択肢を作ったことで、授業者側からどの科目を取得したら良いか分かりにくく、必要単位数以上に受講する受講生もいた。必要な単位数が取得できるようなパッケージ化も検討する必要がある。また既取得者アンケートの実施で、募集対象を拡げ、アンケート募集と集計に手間取ったことも運営に影響を与えた。ただし、開講科目を増やしたことは勤務年数が11年以下の方の受講も可能という印象を持つことができたため、10年以下の受講者が2名あったことは大きい。

受講者においてほぼ単位を取得したことは、受講者の視聴状況を常に追跡し、年末の段階で試験を意識させていったことが大きい。ただ、おおよその配信・試験のスケジュールを通知していたが、期限が近づくにつれてあきらめていく受講生も存在した。そういった受講生は、メール・DMだけでなく電話でも状況確認を行い、単位取得まで意識させるよう努めた。

【新たな教師の学びの姿の実現に向けて（特別講習、選択）： 2 講習】

講習名	時間数	上限数	受講者数	受講料	特記事項
絵本作家の講演会	3 h	100	30	無料	対面
「学校安全」生活安全・交通安全・災害安全～自らの命を守り安全な社会を築くために～	6 h	40	4	無料	オンライン・オンデマンド配信

次に実践の講習として、「新たな教師の学びの姿の実現に向けて」を題材にオンラインと対面での講習を2講座開講する準備した。県内 360 園にも声をかけたにもかかわらず、あまり受講生が伸びなかった。

その後の複数園に実態の確認したが、園の行事等忙しい中、受講者を出すことに困難との理由が示された。このことにおいては、実施検討委員会として協議しており、委員からは「保育者が足りていない、園に参加を強いることは難しい」という意見があった。このことをふまえて次年度以降、再設定し開講できるように協議を重ねていく予定である。

なお、9 科目の受講者 18 名の内、多くの受講生は、課題等全て提出し、試験に全員合格し、希望する単位は修得した。そして履修した受講生の最大単位取得数が 10 単位であるため、本学単独で修得した単位で上進申請する教諭（受講生）は 5 名程度である。

今回映像学習用に用意した動画は、クラストリームで公開し 2 月末までの視聴可能としていたが、受講生へ案内し、授業だけでなく、その後の反復学習としても視聴できるよう 3 月末まで公開した。

なお、今回調査した以下のアンケートについては別添で提出する。

○免許法認定講習等受講完了者実態調査（アンケート）

※上進する・された方対象のアンケート調査を比較

○受講完了者アンケート（前年度比較）

（4）今後の課題・展望

実施における課題としては、受講者数の少なさが挙げられる。その対策として、現職の教諭の受講しやすさの追及、そして職場からの配慮を求める仕掛けづくりを計画している。受講者が平日の夜に受講することが難しいことを想定して、隙間時間を活用できるよう映像のコンパクト化や、受講者がいつでも映像を確認できるように映像のダウンロードを可能とする仕組みが必要である。また、受講者が正式登録された時点で職場へ通知を出し、園側から側面的支援へのお願いする仕組みも必要と思われる。

さらにオンラインを利用しての講義を配信することを前提に、募集を広域で実施することで受講者増に期待している。さらに現場が悩んでいる・また現場ですぐに活かせる内容を取り入れ、教諭にとって魅力ある講習にすることでさらなる申込増を期待したい。これらは関係機関と共にさらに検討していく予定である。

オンライン・オンデマンド配信の課題として、受講生の視聴環境の課題があげられる。これには視聴会場の無償提供を進め、受講生から本学会場で視聴した実績がある（2日間）。夜間の対応も検討したが、事務側の負担も大きく、ルーター等の貸出で対応を検討している。さらに受講者の学びへの意欲を継続させることの工夫や、オンラインでの実技系科目の実施方法においても課題がある。これらは担当講師と協議しながら解決を探る必要がある。

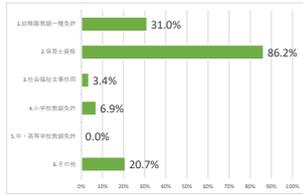
今後取り組む特色ある講習として「学校における危機管理上の課題」「子ども観、教育観等についての省察」を中心にさらに開講していく予定である。これらについては、多くの教育職員が現在課題として向き合っている内容を中心に、現職の方が受けやすい方法で開講していく予定である。

開講講座数においては令和5年度の9科目16単位から変更せず、学びやすいスタイルを追求しつつ、授業内容をさらに充実させていく予定である。

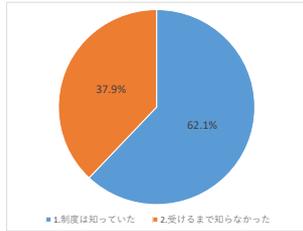
7.取得されている免許についてお伺いします。	割合
1.幼稚園教諭一種免許	33.0%
2.保育士資格	25.06%
3.社会福祉士専門員	3.4%
4.小学校教諭免許	6.9%
5.中学校教諭免許	0.0%
6.その他	20.7%
合計	148.2%

(複数回答含む)

※その他の解答	割合
1.児童福祉士	
2.幼児二種免許(実習経験追加)	
3.幼稚園教諭二種免許	
4.幼稚園教諭一種免許	
5.幼稚園教諭二種免許	
6.幼稚園教諭一種免許	
7.特別支援免許	
8.幼稚園教諭二種	

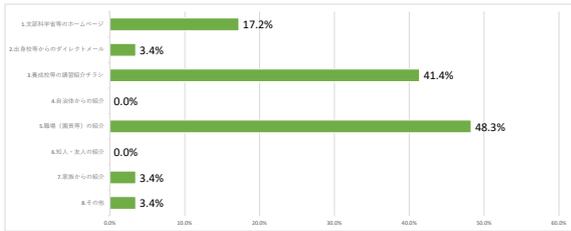


8.免許法認定講習(上達講習)の制度をご存じですか?	割合
1.知っている(受講したことがある)	62.1%
2.知らない(受講したことがない)	37.9%
合計	100%



9.知ったきっかけは何ですか?	割合
1.文部科学省等のホームページ	17.2%
2.保育院等からのダイレクトメール	3.4%
3.業務院からの講習紹介チラシ	41.4%
4.自治体からの紹介	0.0%
5.職場(園長等)からの紹介	48.3%
6.知人・友人からの紹介	0.0%
7.家族からの紹介	3.4%
8.その他	3.4%
合計	117.2%

(複数回答含む)



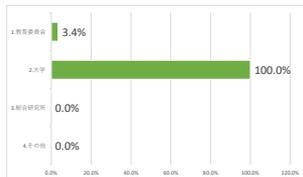
10.免許法認定講習はいつ受講しましたか?	割合
1.単年度	41.4%
2.複数年度	58.6%
合計	100%



※「1.単年度」の解答	※「2.複数年度」の解答
2023	2020-
2023	2022-2023
2023	2019-2023
2023	2021-2023
2023	2020-2023
2023	2022-2023
2021	2006-2023
2022	2021-2023
2021	2021-2023
2023	2015-2016
2023	2009-2013
2022	2004-2005
2022	
2022	
2021	
2023	
2023	

11.あなたが免許法認定講習を受けた理由は?	割合
1.就業のため	3.4%
2.子育て	100.0%
3.結婚・出産	0.0%
4.その他	0.0%
合計	103.4%

(複数回答含む)

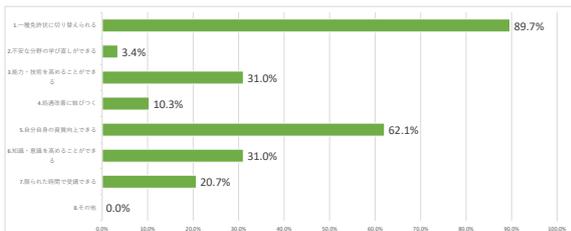


※「2.子育て」の内訳	割合
1.出産	6.9%
2.育児	0.0%
3.子育て	14.48%
4.子育て	20.7%
5.子育て	48.3%
合計	103.4%

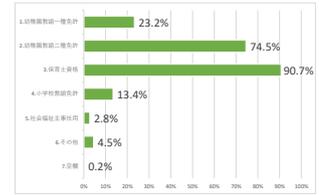
(複数回答含む)

12.免許法認定講習を受けた理由は?	割合
1.就業のため	20.7%
2.不安な分野の学び直しができる	3.4%
3.能力・技術を高めることができる	31.0%
4.知識・技術を身につけることができる	10.3%
5.自己啓発・学習のため	62.1%
6.知識・技術を身につけることができる	31.0%
7.不安な分野の学び直しができる	20.7%
8.その他	0.0%
合計	248.3%

(複数回答含む)



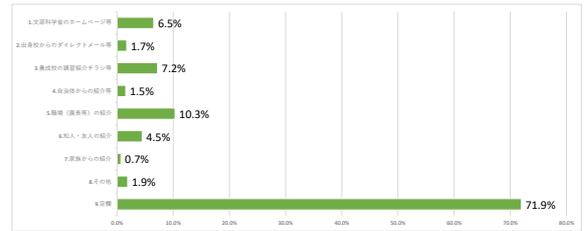
13.取得している免許(自由)	割合
1.幼稚園教諭一種免許	23.2%
2.幼稚園教諭二種免許	74.5%
3.保育士資格	90.7%
4.小学校教諭免許	13.4%
5.社会福祉士専門員	2.8%
6.その他	4.5%
7.空欄	0.2%
合計	209.3%



14.免許法認定講習の認識	割合
1.知っている(受講したことがある)	10.5%
2.知っている(受講したことがない)	23.8%
3.知らない	62.8%
4.空欄	2.9%
合計	100.0%

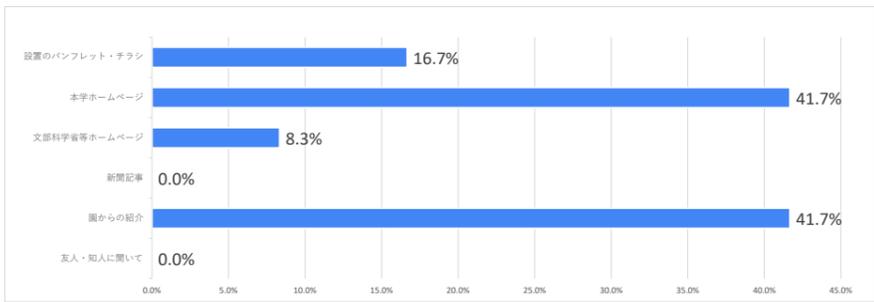


15.知ったきっかけ(3つまで)	割合
1.文部科学省等のホームページ	6.5%
2.保育院等からのダイレクトメール	1.7%
3.業務院からの講習紹介チラシ	7.2%
4.自治体からの紹介	1.5%
5.職場(園長等)からの紹介	10.3%
6.知人・友人からの紹介	4.5%
7.家族からの紹介	0.7%
8.その他	1.9%
9.空欄	71.9%
合計	106.4%



(4) 今回の講座はどちらでお知りになりましたか（該当箇所全てにチェック）。		割合
設置のパンフレット・チラシ	2	16.7%
本学ホームページ	5	41.7%
文部科学省等ホームページ	1	8.3%
新聞記事	0	0.0%
園からの紹介	5	41.7%
友人・知人に関して	0	0.0%
合計	13	108.3%

(複数回答含む)



講師へのメッセージ、講習への希望・要望をご記入ください。

発達について何度も勉強してきましたが、新しい発見もたくさんあり、実り多い講義となりました。ありがとうございました。私の働き方の都合により、今年度中に書類手続きを全て終わらせたいと考えています。評価を出せるだけ早く受け取りたいのですが、可能でしょうか。ご検討をよろしくお願い致します。

本当にありがとうございました。これから子どもたちと一緒にたくさん学んでいきたいと思えます。

お礼は直接メールさせていただきました

ないです。ありがとうございました。

働きながら学ぶ大変さもありましたが、学び直しができました。実践に役立つことばかりで受講させて頂き感謝です。ありがとうございました。

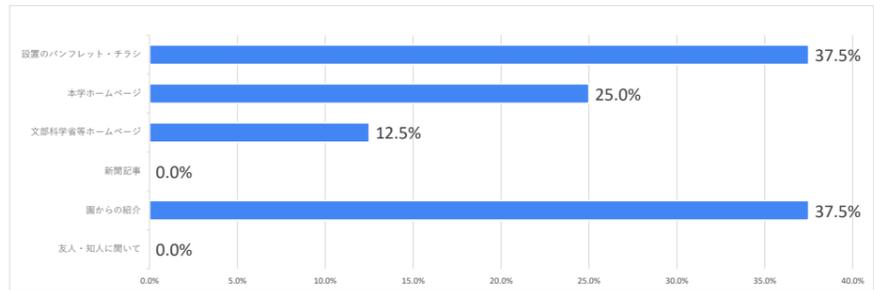
提出課題それぞれにコメントを頂きありがとうございました。とても学びになりました。教科の評価を見て、どんなところをつけたら満点になるのかなど、その後のアクションプランを教仕事、子育て中なので、これからはオンラインだと嬉しいです。

どの講師の先生も、わかりやすく丁寧に教えていただきありがとうございました。

たくさんの知識を得ることができ、ありがとうございました。オンラインでしたが、続編や対面の機会がありましたら、学び続けたいと思いました。実践に役立つ内容や自分の振り返りとな

(4) 今回の講座はどちらでお知りになりましたか（該当箇所全てにチェック）。		割合
設置のパンフレット・チラシ	3	37.5%
本学ホームページ	2	25.0%
文部科学省等ホームページ	1	12.5%
新聞記事	0	0.0%
園からの紹介	3	37.5%
友人・知人に関して	0	0.0%
合計	9	112.5%

(複数回答含む)



講師へのメッセージ、講習への希望・要望をご記入ください。

楽しく学ばせていただきました。ありがとうございました。

特にありません。ありがとうございました。

お忙しい中講習をありがとうございました。講義の内容わかりやすく、改めて勉強する機会をいただきました。オンラインでの研修ということもあり、仕事をしながら自分の時間を作って見今後ともご指導よろしくお願い致します。

ありがとうございました。毎回の講義も学びにつながり勉強になりました。

今回の講習では、勉強になることばかりでした。ありがとうございました。きちんと保育に活かしていきたいと思えます。

発達障害児への支援の講習は、非常に丁寧でわかりやすく、講習も楽しかったです。ありがとうございました。です